

平成26年11月27日

**発達障害のある児童生徒の読み書きの指導
日米シンポジウムのご案内**

広島大学大学院教育学研究科では、「発達障害のある児童生徒の読み書きの指導 日米シンポジウム」を下記のとおり開催致します。

本シンポジウムでは、各種学力調査の結果に基づき、言語活動の充実を図るため、特に読み書きに課題のある児童生徒の学びを保障するために何ができるか、国内外における最新の知見や先進的な実践例を基に考えます。

米国からはアメリカ心理学会（APA）発行の「教育心理学ハンドブック」の代表編者でもあるカレン・ハリス教授、スティーブ・グレアム教授（アリゾナ州立大学）の両氏に、日本からは宇野 彰教授（筑波大学）に、共に研究者の立場から読み書き障害のメカニズムについての最新の知見を発表いただきます。

また、卓越した指導実績のある小学校教諭に、東京会場では通級指導教室（通常の学級に在籍する比較的軽度の障害がある児童生徒に対して、障害の状態に応じて特別な指導を行うための教室）における個別・小集団における読み書き困難児に対する指導について、広島会場では通常の学級における読み書き困難児に対する指導について紹介いただきます。

世界的なグローバルな視点から地域でのローカルな実践までを連続性を持って取り上げる「グローバル」なシンポジウムはとても珍しく、世界と地域を結ぶ、地域の中核大学ならではのシンポジウムです。

記

1. 日時（共に9時受付開始）

Ⅰ：東京会場：12月13日（土）9：30～17：30

Ⅱ：広島会場：12月14日（日）9：30～17：30

2. 会場

Ⅰ：広島大学東京オフィス国際会議室（東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター（CIC））

Ⅱ：広島JA会館（広島市中区大手町4丁目7-3）

3. 対象

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、学習支援員等

4. 定員

東京会場 100人、広島会場 300人

5. その他

要事前申込み、先着順。

【問い合わせ先】

大学院教育学研究科特別支援教育学講座 牟田口辰己
TEL:082-424-7171 FAX:082-424-7171

発達障害のある児童生徒の読み書きの指導

日米シンポジウム

1 趣旨（概要）

知識基盤社会の到来や、グローバル化の進展など急速に社会が変化する中、次代を担う子どもたちには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて判断することや、異なる文化や歴史に立脚する人々との共存を図ることなど、変化に対応する能力や資質が一層求められています。一方、近年の国内外の学力調査の結果などから、日本の子どもたちには思考力・判断力・表現力等に課題がみられます。こうした課題は発達障害のある児童生徒にとってより顕著な課題であり、言語活動の充実を図るには、言語力に課題のある児童生徒の学力の底上げを行いつつ、児童生徒による教科間を連携させた多様な学びが求められます。そこで本シンポジウムでは、言語活動の充実を図るため、特に読み書きに課題のある児童生徒の学びを保障するために何ができるか、国内外における最新の知見や先進的な実践例を基に考えます。

2 開催日時

- I：東京会場：12月13日（土） 9：30 ～ 17：30（9時受付開始）
II：広島会場：12月14日（日） 9：30 ～ 17：30（9時受付開始）

3 会場

- I：広島大学東京オフィス国際会議室 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター（CIC）1階
II：広島J A会館 講堂 広島市中区大手町4丁目7-3

4 対象と定員

対象は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、学習支援員等の方です。

定員（先着順）は以下の通りです。

- I：東京会場：12月13日（土） 100人
II：広島会場：12月14日（日） 300人

5 日程・内容

日 程	講義, 演習等	内 容	講 師 等
9：30～9：40		挨拶・概要説明等 (挨拶は広島会場のみ)	宮谷 真人 広島大学大学院教育学研究科長 川合 紀宗 広島大学大学院教育学研究科教授
9：40～11：40	講義	読字障害研究の最新知見(仮題)	Dr. Karen Harris Mary Emily Warner Professor, Arizona State University
11：40～12：40	昼食		

12:40～14:40 (休憩10分)	講義	書字障害研究の最新知見(仮題)	Dr. Steve Graham Mary Emily Warner Professor, Arizona State University
14:50～16:00 (休憩10分)	講義	日本人の読み書き障害の特性(仮題)	宇野 彰 筑波大学人間系教授
16:10～17:00	実践発表	読み書き障害のある児童への支援のあり方(仮題)	中村 勝則(東京会場) 東京都墨田区立柳島小学校教諭 富永美智子(広島会場) 福岡県春日市立春日北小学校教諭
17:00～17:30	ディスカッション	読み書きに困難がある児童生徒へのエビデンスに基づく支援のあり方について(仮題)	Karen Harris Mary Emily Warner Professor, Arizona State University Steve Graham Mary Emily Warner Professor, Arizona State University 宇野 彰 筑波大学人間系教授 中村 勝則(東京会場) 東京都墨田区立柳島小学校教諭 富永美智子(広島会場) 福岡県春日市立春日北小学校教諭 川合 紀宗 広島大学大学院教育学研究科教授

※ 実践発表者以外、両日とも同じ内容となります。

6 その他、申込み方法

- 両日とも通訳がつきます。
- 宿泊および昼食は各自でご用意ください。
- 研修内容や運営の改善、および事業報告書の一部に使用するために、研修の様子を撮影します。予めご了承ください。
- 参加申込みは、下記の事項を記入の上、nkhiroko@hiroshima-u.ac.jp(担当:中村)宛に電子メールでお申込みください。メールの件名は、「発達障害日米シンポ申込み」としてください。
 - ①氏名(ふりがな)、②所属と職名、③連絡先(電話番号、FAX番号、メールアドレス)、④研修会への参加を希望される理由、⑤参加に際し、主催者側が配慮すべき事項
- 本件に関する問い合わせは、以下までお願いいたします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 中村 浩子

電話・FAX 082-424-7174

E-mail nkhiroko@hiroshima-u.ac.jp

発達障害のある 児童生徒の 読み書きの指導

日米シンポジウムのご案内

開催日時 ① 12月13日[±] (東京会場)

② 12月14日^日 (広島会場)

両会場とも 9:30~17:30 (9時受付開始)

会場 ① 広島大学東京オフィス 国際会議室

(東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター1階)

② 広島 JA 会館 講堂

(広島市中区大手町4-7-31)

逐次通訳、
手話通訳がります。

その他

- 宿泊および昼食は各自でご用意ください。
- 研修内容や運営の改善、事業報告書の一部に使用するために、研修の様子を撮影します。予めご了承ください。
- 東京会場、広島会場のいずれかにお申込みください。

この研修についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座
中村 浩子 (本事業担当事務)
電話 082-424-7174 FAX 082-424-7174
E-mail nkhiroko@hiroshima-u.ac.jp

知識基盤社会の到来や、グローバル化の進展など急速に社会が変化中、次代を担う子どもたちには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて判断することや、異なる文化や歴史に立脚する人々との共存を図ることなど、変化に対応する能力や資質が一層求められています。一方、近年の国内外の学力調査の結果などから、日本の子どもたちには思考力・判断力・表現力等に課題がみられます。こうした課題は発達障害のある児童生徒にとってより顕著であり、言語活動の充実を図るためには、児童生徒の学ぶ力を伸ばすための教科間を連携させた多様な学びが求められます。

そこで本シンポジウムでは、言語活動の充実を図るため、特に読み書きに課題のある児童生徒の学びを保障するために何が出来るか、国内外における最新の知見や先進的な実践例を基に考えます。

対象と定員

【対象】 小学校、中学校、高等学校、
特別支援学校等の教員、学習支援員等

【定員】 (先着順) : ①100名、②300名

日程・内容 (予定)

9:30~9:40	概要説明等	川合 紀宗 (広島大学大学院教育学研究科教授)
9:40~11:40	講義 読み書き困難児のための書字指導 (仮題)	Dr. Karen Harris (Mary Emily Warner Professor, Arizona State University)
昼食 (11:40~12:40)		
12:40~14:40	講義 読字力を支える書字指導 (仮題)	Dr. Steve Graham (Mary Emily Warner Professor, Arizona State University)
休憩 (10分)		
14:50~16:00	講義 日本人の読み書き障害の特性 (仮題)	宇野 彰 (筑波大学人間系教授)
休憩 (10分)		
16:10~17:00	実践発表 読み書き障害のある児童への支援のあり方 (仮題)	中村 勝則 (東京都墨田区立柳島小学校教諭) (東京会場) 富永美智子 (福岡県春日市立春日北小学校教諭) (広島会場)
17:00~17:30	ディスカッション	読み書きに困難がある児童生徒へのエビデンスに基づく支援のあり方 (仮題)
Karen Harris (Mary Emily Warner Professor, Arizona State University)		
Steve Graham (Mary Emily Warner Professor, Arizona State University)		
宇野 彰 (筑波大学人間系教授)		
中村 勝則 (東京都墨田区立柳島小学校教諭) (東京会場)		
富永美智子 (福岡県春日市立春日北小学校教諭) (広島会場)		
川合 紀宗 (広島大学大学院教育学研究科教授)		

本シンポジウムは、文部科学省「平成26年度発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業 (発達障害に関する教職員育成プログラム開発事業)」の一環として実施します。